

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	B：「責任ある研究とイノベーション」の概念と「社会にとっての科学」の理論的実践的深化
研究テーマ名	RRI の新展開のための理論的・実践的研究－教育・評価・政治性に注目して
研究代表者	標葉 隆馬
所属機関・部局・職	大阪大学・社会技術共創研究センター・准教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>本研究は、RRI の(1)教育に関する実践的研究と(2)評価指標の研究、(3)理論的枠組みと政治性に関する研究を中心に、RRI の実践的課題の抽出と理論的枠組みの新たな展開を目指すものである。再生医療と市民教育を事例とした実践的研究、RRI における評価指標研究とりわけ国際比較研究に基づく分析などで顕著な成果を上げている。RRI の政治性の問題への注目もこの分野の研究に大きく貢献するものと評価できる。一部未達成な課題は残っているものの、概ね当初の研究計画通りに研究を遂行することができ、査読付英文学術誌への論文掲載や専門書の出版など、期待された成果が上がったと評価できる。また、研究費についても適正かつ効果的に使用されていると判断される。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、期待どおりではないが一定の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い